

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
計画の実施に向けた推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

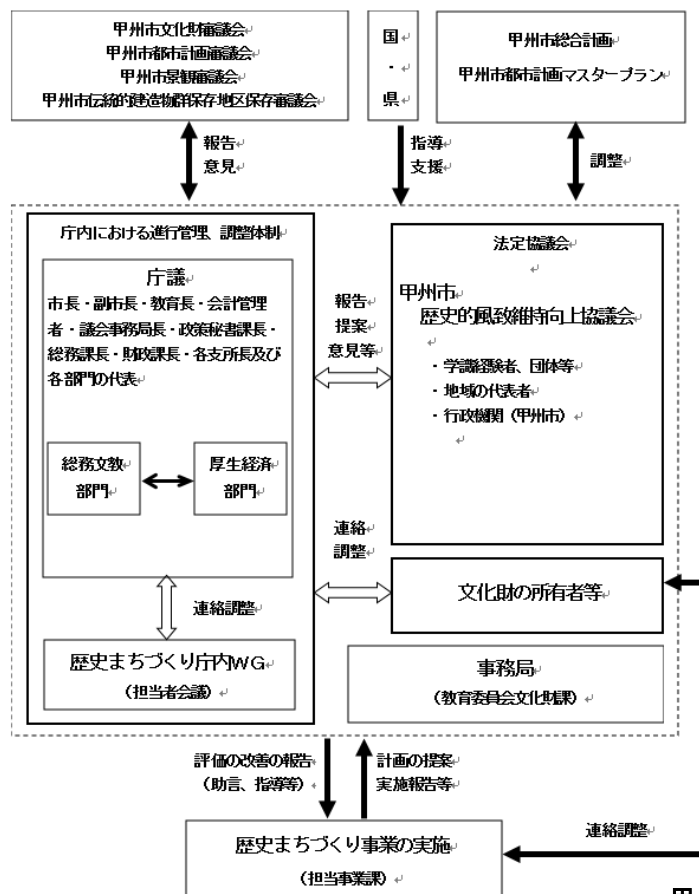
計画に記載している内容	本計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会文化財課歴史まちづくり担当に引き続き事務局を置き、庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を行い、国や県の関係機関と協議して適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「甲州市歴史的風致維持向上協議会」において、計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

教育委員会文化財課が中心となって、関係各課との連絡調整を図り各事業の推進について検討した。令和2年度については歴史的風致維持向上協議会会議、並びに庁内ワーキンググループ会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	各事業の細部のすり合わせについて、今後も担当事業課との協議と連携を密に行い調整する。

状況を示す写真や資料等



甲州市歴史的風致維持向上協議会
○令和2年度は実施なし

歴史まちづくり庁内WG
○令和2年度は実施なし。

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
甲州市景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	本市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、本市の景観政策の充実と向上を図ることにより、本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成のため6つのゾーン区分を設定して、それぞれのゾーンにおける景観形成の方向性を定めている。また、景観形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが甲州市の歴史的風致と重なり、あるいは関係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。
-------------	--

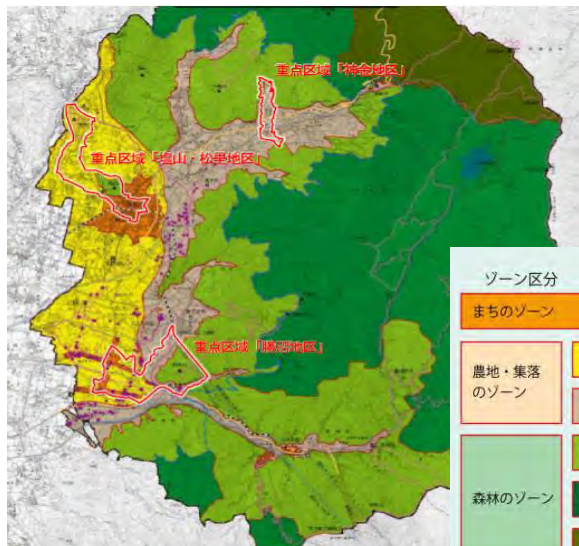
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けた。これにより事業者に対し景観への色彩基準や誘導基準による色の選び方や使い方などの啓発を行い、新築または建て替え物件についてはほぼ100%の理解を得ている。また色彩による景観形成の一環として、本市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自然色ネット等資材購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした(補助率50%)補助事業を実施している。

(令和2年度実績:8件 市補助金額62,000円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■「甲州市景観計画」に掲げたゾーン区分

甲州市景観形成ゾーン区分

ゾーン区分	詳細区分	ゾーンの特徴
まちのゾーン		都市機能や住宅が集積している区域
農地・集落のゾーン	平地農地・集落ゾーン	盆地の平坦部に立地する農地とそこにある集落
	里山農地・集落ゾーン	山裾や小丘の傾斜地に立地する農地とそこにある集落
森林のゾーン	里山森林ゾーン	集落に近く市民のレクリエーションの場になる小丘や山林
	山岳森林ゾーン	集落から離れた自然豊かな山林
	自然公園ゾーン	自然公園法により規制のある区域

汎用的なブルーの防風ネット



補助対象となる自然色の防風ネット



進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
項目		令和2年度 現在の状況
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金	
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存・活用を図るため、建造物等の買上げや修理・修景などを行い、歴史的景観の整備を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和2年度は、修理の要望が無かったため整備事業は未実施であるが、伝建地区内の住民とのコミュニケーションを密にとり、要望が挙がった際には即時事業が進捗できるように準備を進めた。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成21年度～ 令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 甲州市近代産業遺産「宮光園」について、これまで主屋、白蔵、離座敷などの修理を終えているが、東三番蔵など未修理の附属屋が残るため、保存修理を行い屋敷構えを整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宮光園の保存・修理事業については、主屋、白蔵、文庫蔵・道具蔵・離れ座敷、庭園等の事業が平成27年度までに完成しているが、東三番蔵などの未修理の附属屋が残っており、これらの修理工法や敷地の活用方法などの方向性について検討を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

敷地内建物の価値づけの見直しを行っており、今後の評価を検討している。評価が決まるまでは、現状維持に努めていく。

状況を示す写真や資料等

未修理の建物



【 第一醸造所葡萄酒貯蔵庫 】



【 東三番蔵解体跡 】

甲州市近代産業遺産宮光園施設利用状況

宮光園入館者数 年度別集計表

28年度				29年度			30年度			令和元年度			令和2年度		
月	日数	入館者	日平均	日数	入館者	日平均	日数	入館者	日平均	日数	入館者	日平均	日数	入館者	日平均
4	26	409	15.7	26	787	30.3	26	793	30.5	25	606	24.2	0	0	0.0
5	26	658	25.3	26	964	37.1	26	858	33.0	26	902	34.7	8	32	4.0
6	26	330	12.7	26	881	33.9	26	561	21.5	26	742	28.5	26	166	6.4
7	27	578	21.4	29	712	24.6	26	504	26.0	26	568	22.7	26	313	12.0
8	27	579	21.4	26	1,246	47.9	27	1,552	57.5	26	879	33.8	26	571	22.0
9	26	937	36.0	26	1,478	56.8	26	6,160	236.9	24	1,025	42.7	24	917	38.2
10	28	2,068	73.9	28	2,825	100.9	26	2,409	92.7	24	614	25.6	27	744	27.6
11	25	1,240	49.6	27	2,829	104.8	27	1,558	57.7	24	794	33.1	24	622	25.9
12	23	387	16.8	23	511	22.2	23	261	11.3	23	384	16.7	23	172	7.5
1	23	244	10.6	23	421	18.3	23	275	11.9	22	212	9.6	22	79	3.6
2	24	297	12.4	24	1,028	42.8	25	424	17.0	23	328	14.3	23	147	6.4
3	27	588	21.8	27	962	35.6	27	598	22.1	7	61	8.6	25	209	8.6
計	308	8,315	27.0	311	14,644	47.1	308	15,953	51.8	275	7,115	25.9	254	3,972	15.6

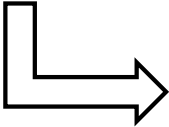
評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
史跡勝沼氏館跡保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～ 令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)		
計画に記載している内容	史跡勝沼氏館跡について、整備完了後の経年劣化による修理必要箇所や、未発掘用地、未買収用地があるため、計画的に再整備を実施するほか、土地の公有化、発掘調査などを実施し整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度において、国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)を活用しての事業実施は行わなかった。現状施設の維持、管理に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物を指定し、適切な修理・修景を行うことで、公開施設やガイダンス施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物に指定している雲峰寺本堂(国重要文化財)の檜皮葺屋根の雨漏りの応急修繕を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 雲峰寺本堂 檜皮葺屋根応急修繕  			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和2年度		令和2年度
項目		現在の状況
農業基盤整備促進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	狭い農作業道の整備を実施し、農業経営の安定や農作業の効率化を図るとともに、担い手への農地利用集積を促進し、生産組織の育成や強化を推進することで、生産量の向上及び安定を図る。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
基盤整備促進事業（農業基盤整備促進事業）により、「農道上岩崎12号線測量設計」を行い、周辺農耕者の農業効率と生産性の向上を図った。（延長L＝294m） 令和2年度事業として施工延長294.0mのうち、154.8mを令和3年3月に完了し、令和3年度に前年度残り区間の139.2mの改良工事、全面舗装を行い、本事業は令和4年3月に完了予定。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

農道上岩崎12号線改良工事



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
甲州市農村ワーキングホリデー事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度で、ブドウやモモ、スモモの栽培にかかる作業やコログキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「農村ワーキングホリデー」事業として、モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図った。農業に興味があり進学を考えている高校生を学校からの推薦もあり受入を実施。また醸造用ブドウの栽培をしている農家への受入実施。(令和2年度実績:受け入れ5人 2泊3日～8泊9日、期間:9月19日～11月23日)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和2年度はコロナウイルス感染症の関係で宿泊等はお試し住宅を使用し感染拡大防止に努めながらの実施		
状況を示す写真や資料等			
ワーキングホリデー作業風景  収穫作業  箱詰め作業			

進捗評価シート		(様式1-3)	
評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
於曽屋敷環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	於曽屋敷は中世豪族の屋敷跡で、これを公有化し整備するとともに、周辺に駐車場やトイレなどの公益施設を配置し、公園として利活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
於曽公園は都市再生整備計画事業により平成29年度までに遠路整備やトイレの改修工事等の整備をした。この整備は「塩山駅周辺環境道路環境整備計画」の一部であり、都市公園としての利便性は改善された。しかし於曽屋敷の公有化には至っていない。 令和2年度においては、於曽公園を含めた塩山駅周辺地区の「まちの賑わいづくり」のための事業を実施した。今後は於曽公園東西の道路拡幅、駅と公園周辺の利便性向上を目的とした南北道路の拡幅整備を計画している。 その道路整備計画により、塩山駅北口にある文化財施設「旧高野家住宅(甘草屋敷)」とのアクセスを向上し、その中で於曽公園の公有化も併せて検討していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、駐車場やトイレなどの公益施設の整備を行い、地区内の環境を整える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度については、環境整備として所有者が管理できない土地や共有農地の草刈り、仮設トイレの管理など実施し、環境美化を推進した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		計画にあたり、地区内の土地所有者との交渉が難航した。今後は甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業と併せて、伝建地区内での住民との密なコミュニケーションを取りながら、住民要望を押さえつつ計画を実施していく。	
状況を示す写真や資料等			
 草刈り前   草刈り前 草刈り後			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
市内伝統芸能・祭典継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供するとともに、補助金を交付するなどの支援を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市内5つの団体の活動の縮小、祭典の中止等を余儀なくされたが、補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		担い手の高齢化等もあり、積極的に魅力ある伝統芸能の継承のため若者に啓発を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

甲州市の継承すべき伝統芸能・祭典



藤木道祖神祭太鼓乗り(甲州市指定 無形民俗文化財)



熊野神社御幸行列(甲州市指定 無形民俗文化財)



田野十二神楽(山梨県指定 無形民俗文化財)



一之瀬高橋の春駒(山梨県指定 無形民俗文化財)



柏尾の藤切祭(山梨県指定 無形民俗文化財)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
歴史文化の発信事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業(歴史的風致活用国際観光支援事業)		
計画に記載している内容	甲州市を訪れる観光客が、甲州市に点在する歴史的建造物や名所・旧跡を見学しやすいように、案内板や説明板、誘導標識などの公共サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度については、日本遺産「ワイン文化140年史」認定に伴い、構成文化財である宮光園、伝統あるワイナリー(4件)、宮崎第二醸造場(メルシャン資料館)、祝橋、他4箇所に説明看板を設置した。また、宮光園白蔵内に日本遺産ビクターセンターを設置し説明看板には英語の説明も併記した。 またSNSでの情報発信に関しては、イベント等が実施出来なかった為例年に比べ情報が少なかった。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公共サインに関しては、引き続き関係課と連絡を取り合いながら国内外の観光客に優しいサインの設置を実施していく。また、情報発信の面ではSNS等の利活用方法を検討し効果的な発信と外国語への対応を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
 旧田中銀行 社屋  旧宮崎葡萄酒醸造場施設(宮光園)  旧宮崎葡萄酒醸造場施設(宮崎第二醸造場)  勝沼醸造  くらむぼんワイン  丸藤葡萄酒工業  原茂ワイン  祝橋  旧大日影鉄道隧道・旧深沢鉄道隧道  旧大日影鉄道遺構(大久保沢河川隧道)  龍憲セラー  菱山歩道隧道遺構			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
歴史的風致散策・景観形成協働事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～ 令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 甲州市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、各歴史的風致の散策会を定期的に開催するほか、散策で気付いた点について、市民などと協働して、農業用ネットの交換やガードレールの景観色塗装など、景観形成協働事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度については、新型コロナウイルスの影響もあり例年通りの実施が困難であった。「日本ワイン140年史」が日本遺産認定されたことを受け、構成文化財を見学する散策会を2回(ワインコース・ブドウコース)実施できた。参加者には、申込時より感染予防対策の協力をお願いし、安全に実施できた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

歴史的風致散策



日本遺産探訪 vol.1
「日本ワイン発祥の地を巡る」

『日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和食文化の結晶～』の日本遺産認定を祝し、日本ワイン発祥の地を巡ります。ぜひ、ご参加ください。

■日 時 11月7日(土) 午前9時30分～正午 集 合 宮内閣(駐車場は宮内閣北側をご利用ください)
 ■定 員 20名(先着順) ■参加料 無料(別途保険料100円程度)
 ■ル ー ト 宮内閣⇒ぶどうの園文化館⇒蔵酒セラー⇒蔵酒醸造場⇒長谷川製菓⇒丸善製菓工場⇒くもろばんワイン⇒蔵酒⇒蔵酒ワイン⇒蔵酒醸造場⇒ぶどうの園文化館【ワインコース 3.5km】
 ■申込方法 11月5日(木)までに電話またはFAXで、応募・出席・参加費をご連絡ください。半額減額、中止の場合は、事前にご連絡いたします。
 ※新型コロナウイルスの感染リスクを十分に配慮し、感染を防ぐための対策を講じたいとさせていただきます。

◆申込先 甲州市教育委員会文化財課 TEL 32-5076 FAX 32-5172



日本遺産探訪 vol.2
「甲州ブドウの聖地を巡る」

『日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和食文化の結晶～』の日本遺産認定を祝し、日本ワイン発祥の地を「ブドウ」に寄り添って巡ります。ぜひ、ご参加ください。

■日 時 11月21日(土) 午前8時30分～正午 集 合 ぶどうの園文化館
 ■定 員 20名(先着順) ■参加料 無料(別途保険料100円程度)
 ■ル ー ト ぶどうの園文化館⇒トロワ葉・本村神社⇒ズー・蔵酒館(鉄骨建築家蔵酒)⇒大蔵寺⇒田中蔵行⇒宮内閣⇒蔵酒醸造場⇒ぶどうの園文化館【ぶどうコース 3.8km】
 ■申込方法 11月19日(木)までに電話またはFAXで、応募・出席・参加費をご連絡ください。半額減額、中止の場合は、事前にご連絡いたします。
 ※新型コロナウイルスの感染リスクを十分に配慮し、感染を防ぐための対策を講じたいとさせていただきます。

◆申込先 甲州市教育委員会文化財課 TEL 32-5076 FAX 32-5172

【歴史的風致散策 チラシ】



【日本ワインの聖地を巡る
 ワインコース(R2.11.7)】



【日本ワインの聖地を巡る
 ブドウコース(R2.11.21)】

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
文化財の保存又は活用の現状と今後の方針			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市には、令和3年3月時点で国指定文化財29件(うち、国宝3件)、山梨県指定文化財82件、甲州市指定文化財154件の、合計271件の有形・無形の文化財が存在している。 これらの指定文化財は、文化財保護法や山梨県文化財保護条例、甲州市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引き続き保護のための措置を講ずる。その一方で、指定されていない歴史的・文化的価値を有する未指定文化財も数多く所在し、本市の歴史的風致の維持向上を図るうえでも、これらの未指定文化財も保存・活用を図ることが重要である。 文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解するうえで必要不可欠なものであるため、調査を行い、価値が判明したものについては市指定や国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備や防災対策等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。指定文化財等巡視を上半期3回、下半期3回実施し、現状の調査と検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
明治時代のワイン造りに関する重要資料である「往復記録」を刊行した。			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。当該施設としては、重要文化財旧高野家住宅、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めているところである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市が管理する文化財施設については、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつつ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。また旧高野家住宅においては、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館(塩山図書館分館)を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財として活用をされている。 また、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、第19回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり(旧高野家住宅)のみ開催できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 重要文化財 旧高野家住宅(甘草屋敷) 令和2年度 令和3年2月11日～4月18日 第19回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり 【旧高野家住宅(甘草屋敷)】  【塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】			

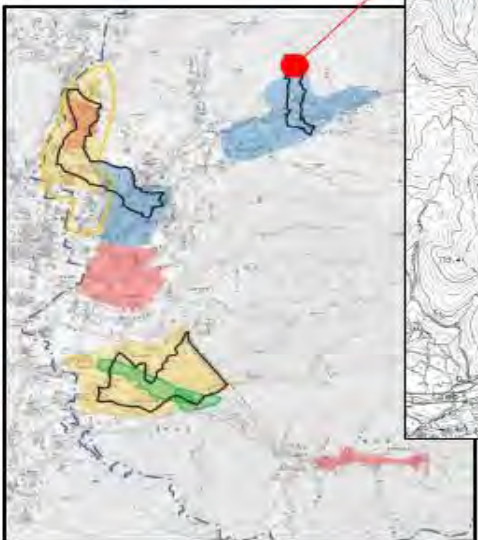
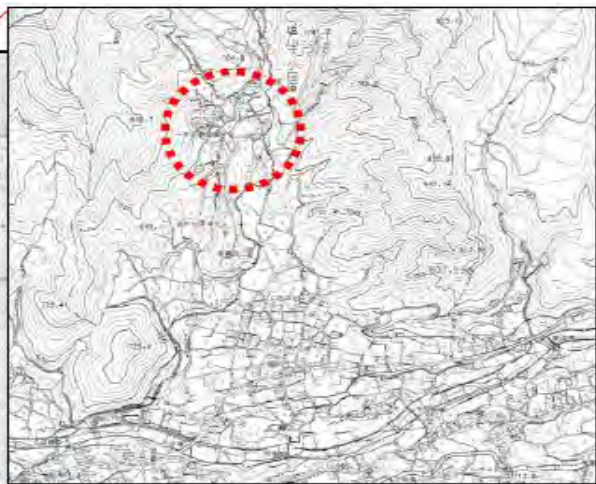
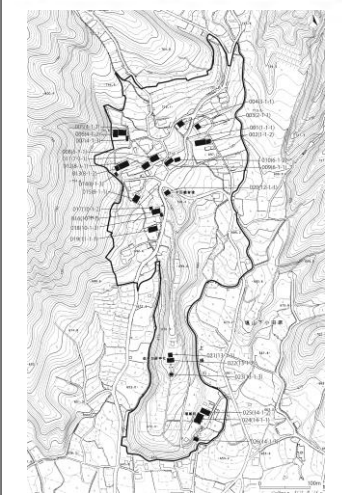
評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブドウ畑の景観を残すこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」をテーマに、山梨県内初の国の重要文化的景観の選定を目指した取り組みを行っている。令和2年度は、平成28年度から30年度までの調査結果をもとに、保存活用計画の検討を行い保存活用計画策定事業報告書(案)を作成した。保存活用計画策定にあたり、外部有識者と地元住民代表者から成る、甲州市文化的景観保存活用計画策定委員会を設置、1回開催し、方針や内容に対して意見を聴取した。 普及啓発としては、地域住民へ広く周知を図るべく、地元住民に広く周知を図る方法としてケーブルテレビを活用し、文化的景観の価値調査に携わった有識者に講師を依頼し、普及啓発用の番組を制作した。また、番組を収録したDVDを作成し、市内小中学校及び各図書館に配布し、幅広い周知を図った。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
文化的景観普及啓発番組制作    【かつめまのあれなんだ?これなんだ?】 勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書子ども向け概要版『かつめまのあれなんだ?これなんだ?』の読み聞かせ。令和2年5月11～31日放送 【お家で文化的景観講座vol.1～3】 勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観の学術調査に携わった専門家の方々による調査成果、魅力を語っていただく番組。令和3年3月22～28日放送   ワークショップ・イベント     甲州市文化的景観保存活用 計画策定委員会  令和3年3月2日第3回策定委員会			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
文化財の防災に関する具体的な計画			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域「神金地区」にある甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の多くは木造であり、傾斜地を造成して宅地としていることから、地震や火災が発生すると倒壊や火災の延焼などにより、被害が保存地区の広い範囲に及ぶことが予想される。そのため、所有者や上条組、地元消防団などと協議を行い、自主防災組織を強化するとともに、今後策定する防災計画に基づき、必要な防災施設の整備等を実施する。また、所有者等と協議して、個々の伝統的建造物に対して耐震補強を行うなどの取り組みを行う。さらに、歴史的景観に配慮しつつ防犯灯を整備し、防犯対策や美術工芸品等の有形文化財が盗難に遭わないよう、地区の意識啓発に努めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度から29年度にわたり、防災計画策定に向けての現地調査を工学院大学に委託し実施し、調査結果の取りまとめ状況を甲州市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催して報告、審議を行ってきた。令和元年度以降予定していた補足調査、地元住民へのヒアリング調査について、新型コロナウイルスの影響で計画どおり進捗できなかったため、令和3年度も引き続き調査、検討を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		調査に一部不足がみられたことと、防災計画の要となる公営水道の事業遅延により、報告書刊行まで至らなかった。防災計画策定は来年度以降とし、以後は計画に基づき防災事業を実施する。 文化財毎に管理体制や管理状況に違いがあり、対応や対策については各管理者と文化財の状況を鑑みて、無理のない対策を講じられるように協議を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区 位置図   上条伝建地区は、標高が700mほどの山間の集落で、水道は集落で引いた小規模水道を使用しており、大きな河川もないため、防災用の水源確保が難しい。  保存地区範囲と伝統的建造物(建築物)			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
釈迦堂博物館のリニューアル		令和2年6月22日	山梨日日新聞(朝刊)
ワインと鳥居焼きを楽しむ(勝沼館跡)		令和2年10月4日	山梨日日新聞(朝刊)
小正月行事 自粛ムード		令和2年12月23日	山梨日日新聞(朝刊)
ひな飾り 公共施設に華やぎ		令和3年2月17日	山梨日日新聞(朝刊)
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
甲州市が歴史的風致維持向上計画の策定により、歴まち都市に認定されたことによって市民の歴史的風致を活かしたまちづくりへの関心が向上した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。	
状況を示す写真や資料等			
【山梨日日新聞 令和2年6月22日掲載】  釈迦堂博物館が一新 可動式展示で立体的に鑑賞 県内外から多くの人が 【山梨日日新聞 令和2年12月23日掲載】  小正月行事 自粛ムード 県内コロナ禍で大勢で大声出せず 感染防止優先 苦渋の決断 【山梨日日新聞 令和2年10月4日掲載】  ワインと鳥居焼き楽しむ 勝沼で県民限定イベント 【山梨日日新聞 令和3年2月17日掲載】  ひな飾り 公共施設に華やぎ 甲州でイベント			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和2年度
歴史的風致に対する認識向上と情報発信			
計画に記載している内容	本市の維持向上すべき歴史的風致は、本市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、本市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものと考えている。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付 JR東日本との良好な関係を示すように、令和2年度も新型コロナウイルスの影響で運行本数は減少したが、本年度も引き続き豪華寝台列車「TRAIN SUITE四季島」が本市のJR塩山駅へ立ち寄るルートが設定されており、甲州市近代産業遺産宮光園が見学地に選定され、四季島の乗客に宮光園の素晴らしさと勝沼のワインの歴史をお知らせするとともに、甲州市の文化財や地域の魅力、観光についてパンフレット配布等により普及・啓発を図った(令和2年度8/15～11/28まで計12回、他訓練運行3回)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	昨年度に引き続き、宮光園は、豊かで上質な旅時間の提供をコンセプトとした「TRAIN SUITE四季島」の見学地に選定されたことや、市外や県外への認知度も上がり順調に入館者数を伸ばした。これを宮光園だけの効果に留まらせないためにも、他の文化・観光施設や固有の資源・サービスを連携させ、広域的かつ効果的な情報発信の方法を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
 【令和2年11月28日 撮影(年内ラストラン)】			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:	
会議等の 開催日時:	年度末に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年5月31日付けで、甲州市歴史的風致維持向上計画協議会の委員の方へ進捗評価シートを郵送。6月11日を締切にし、意見集約を実施。
(コメントの概要) ○特になし	